

第66回国民体育大会(おいでませ!山口国体)は3日目の3日、山口、広島両県で競技が行われ、県勢は11競技に出場。ライフル射撃では、少年女子エアライフル立射で和田渚(科学技術高)が5位入賞し、成年男子



センターファイアピストル60発では石丸貢司(県警)が6位入賞を果たした。テニス成年女子の県選抜は6年ぶりに4強入り。バスケットボール少年男子の県選抜も5年ぶりの4強進出を決めた。



テニス成年女子の県選抜ペアが、二回戦で昨年の覇者・京都を破る大金屋。準々決勝も突破して6年ぶりの4強入りを果たした。二回戦で負けると思っていた。まさか勝つなんて。監督を兼ねる井上愛(同志社大)は驚きを隠さなかった。

県選抜ペアは、高校一年から六年連続で国体に出場している井上と、昨年の全国高校総体(インターハイ)3位の原動力となった菅村恵里香(筑波大)で組む。仁愛女高OGの二人が、ふるさと選手としてタッグを組んだ。

京都戦は、井上が第

# 昨年覇者・京都破り勢い



1シングルスをとどしたが、「思い切り攻めていたら全部コート内に入った」という菅

テニス成年女子2回戦、福井-京都 コート際を狙ってストロークする第1シングルの井上愛(同志社大)山口県周南市のキリンビバレッジ周南陸球場で(藤共生撮影)

# テニス成年女子4強

テニス	
福井	菅井上 1-8 伊藤 藤
京都	菅井上 8-6 伊藤 藤
大阪	菅井上 8-6 伊藤 藤
福岡	菅井上 8-6 伊藤 藤
山形	菅井上 8-6 伊藤 藤
宮城	菅井上 8-6 伊藤 藤
秋田	菅井上 8-6 伊藤 藤
岩手	菅井上 8-6 伊藤 藤
青森	菅井上 8-6 伊藤 藤
茨城	菅井上 8-6 伊藤 藤
栃木	菅井上 8-6 伊藤 藤
群馬	菅井上 8-6 伊藤 藤
埼玉	菅井上 8-6 伊藤 藤
千葉	菅井上 8-6 伊藤 藤
東京	菅井上 8-6 伊藤 藤
神奈川	菅井上 8-6 伊藤 藤
新潟	菅井上 8-6 伊藤 藤
富山	菅井上 8-6 伊藤 藤
石川	菅井上 8-6 伊藤 藤
福井	菅井上 8-6 伊藤 藤
岐阜	菅井上 8-6 伊藤 藤
愛知	菅井上 8-6 伊藤 藤
三重	菅井上 8-6 伊藤 藤
滋賀	菅井上 8-6 伊藤 藤
奈良	菅井上 8-6 伊藤 藤
和歌山	菅井上 8-6 伊藤 藤
徳島	菅井上 8-6 伊藤 藤
香川	菅井上 8-6 伊藤 藤
高松	菅井上 8-6 伊藤 藤
愛媛	菅井上 8-6 伊藤 藤
高知	菅井上 8-6 伊藤 藤
福岡	菅井上 8-6 伊藤 藤
佐賀	菅井上 8-6 伊藤 藤
長門	菅井上 8-6 伊藤 藤
山口	菅井上 8-6 伊藤 藤
徳島	菅井上 8-6 伊藤 藤
香川	菅井上 8-6 伊藤 藤
高松	菅井上 8-6 伊藤 藤
愛媛	菅井上 8-6 伊藤 藤
高知	菅井上 8-6 伊藤 藤



テニス少年女子2回戦、福井-愛知 バックハンドを見せる林恵里奈(平林靖博撮影)

村が第2シングルスを取り返した。最後のダブルスは「前衛で早く仕掛けよう」と心掛けた(井上)のが奏功。実業団の強豪ペアに逆転勝ちした勢いそのままに、準々決勝は滋賀に快勝した。

準優勝した六年前の岡山国体以来となる県選抜の準決勝進出。京都府出身の井上は「お世話になった仁愛女子」とさらなる快進撃を誓った。(藤共生)

## 少年女子 持ち味発揮も 8強入り逃す

テニス少年女子は林恵里奈(仁愛女)と大田黒秋奈(同)の二人で挑んだが、三回戦で大阪に敗れ、8強入りは逃した。



テニス少年女子2回戦、福井-愛知 フォアハンドで攻める大田黒秋奈

シードとして二回戦から臨んだ県勢は、初回2の大田黒も8-3で快勝し、ダブルスを戦わずして順調に三回戦に進めた。

三回戦は林が勢いに乗って勝利したが、続く大田黒は敗退、ダブルスでも8-3で破れ、昨年に続く8強入りは成らなかった。(平林靖博)

# 県勢初制覇 見えた



## 仁愛女高OG「進化」

おいでませ! 山口国体は四日目の四日、山口県を中心に競技が行われ、県勢は九競技に出場。テニスで成年女子の県選抜ペアが六年ぶりに決勝へ進出し、バスケットボール少年男子の県選抜は準決勝で敗れて3位が確定。ボウリングでは成年女子団体2人チーム戦で県選抜ペアが7位となり初入賞。ライフル射撃成年男子センターファイアイアヒストル30発では石丸真司(県警)が8位に入賞した。期待のポルトでは六クルーが決勝へ、三クルーが5-8位決定戦へ進んだ。

確かな成長を遂げた仁愛女高OGの大学生ペアが、テニス成年女子で県勢六年ぶりの決勝へ名乗りを上げた。

準決勝は地元・山口にシングルスを試合でスト

### テニス

(岩国市コートほか)

福井2単2・0・0  
井上8・5 吉原  
菅村8・1 伊藤

第1シングルの井上愛(同志社大三年)は落ち着いていた。「二度も負けたことがない相手。接戦に持ち込まれても勝つ自信があった」。苦手のバックハンドを狙われ、逆逆にフォアで自信を持って攻めた。8-

### テニス成年女子決勝進出

5で難なく先勝した。第2シングルの菅村恵里香(筑波大一年)は序盤から持ち味の力強いストロークで圧倒し、8-1で完勝。「サーブが入ったので相手を崩せました」。二人は関東と関西で地区の学生大会を制している。仁愛女高で培った練習量と技術に、優勝で得た余裕と自信を上乘せ

し、たくましさを増して国体に戻ってきた。吉田監督は「井上は高校では守りのテニスだったが、随分と攻めるようになった。菅村も無理に難しいコースを狙わず、余裕を持ってラリーができるようになった」と成長ぶりに目を細め、県勢初の頂点を期待を込めた。

(藤共生)



⑤テニス成年女子準決勝 福井-山口 相手のサーブゲームをブレイクし、ガッツポーズをする第1シングルの井上愛(同志社大) ⑥力強いストロークで相手を圧倒する第2シングルの菅村恵里香(筑波大) =いずれも山口県周南市の麒麟ビバレッジ周南庭球場で(藤共生撮影)

## 記事・写真

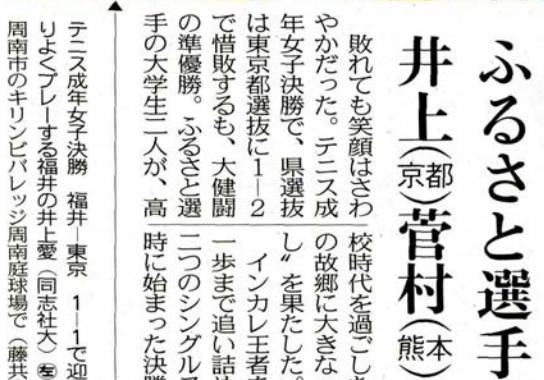
## 2011.10.05

## 日刊 県民福井提供

# インカレ王者に健闘

## ふるさと選手

### 井上(京)菅村(熊)



テニス成年女子県選抜準優勝

敗れても笑顔はさわやかだった。テニス成の故郷に大きな「恩返し」を果した。年女子決勝で、県選抜は東京都選抜に1-2で惜敗するも、大健闘の準優勝。ふるさと選手の大学生二人が、高時に始まった決勝。井上(京)菅村(熊)を果した。

テニス成年女子決勝 福井 東京 1-1で迎えた最終のダブルス戦で、思い切りよくプレーする福井の井上愛(同志社大)と菅村恵里香(筑波大)は山口県周南市のキリンヒバレッジ周南庭球場で(藤共生撮影)

テニス	
(岩国市コートほか)	
【成年女子】▽決勝	
東	京2単10-1福井
○大	竹8-3井上
○大	田3-8菅村
○大	田8-3菅井村上

上愛(同志社大三年)が競り負けたが、菅村恵里香(筑波大一年)が「激しい雨の中で、球が重くなり、打ちやすかった」と快勝し、最終のダブルス戦に決着を持ち込んだ。

ダブルス戦では相手に試合巧者ぶりを発揮され完敗したが、「とても大きな経験になった」と、井上は自信を深めていた。仁愛女高OGの二人は、井上が京都府出身で菅村が熊本県出身。それぞれの故郷からの出場も道もあったが、福井を選んだ。「今の自分があるのは、仁愛での三年間のおかげ。来年もし福井から出られたら、今度は優勝したい」(井上)。頼もしい卒業生たちが、福井に快挙をもたらした。(藤共生)

## テニス成年女子 県選抜が準優勝



テニス成年女子決勝 東京に1-2で惜しくも敗れたものの、準優勝にさわやかな表情を見せる福井の井上愛(同志社大)と菅村恵里香(筑波大) 11:55午前、山口県周南市のキリンヒバレッジ周南庭球場で(藤共生撮影)

記事・写真  
2011.10.06  
日刊 県民福井提供